

事業名	家庭教育オピニオンリーダー支援事業
事業の特徴	町としての家庭教育オピニオンリーダーの養成と支援（各種講座の開催や県レベルでの研修への参加促進、自主グループの支援、家庭教育学級などへの講師派遣）

実施機関名	塩谷町教育委員会生涯学習課
連絡先	〒329-2221 栃木県塩谷郡塩谷町玉生681 TEL 0287-45-0050 FAX 0287-45-0067 URL http://www.town.shioya.tochigi.jp
事業規模	市区町村
事業主体	教育委員会
事業のテーマ分野	家庭教育支援

1 事業の概要

塩谷町で実施している家庭教育オピニオンリーダー支援事業は、大きく二つの内容がある。一つめは、栃木県教育委員会主催の家庭教育オピニオンリーダー研修への受講生の推薦と派遣、各種家庭教育に関する研修会へのサポート活動である。町内の家庭教育や子育て支援に関心のある方々に計画的・継続的に受講を勧めている。二つめは、上記研修の修了生で組織される「塩谷町家庭教育オピニオンリーダーズ・アイ」の活動支援と、地域社会へのボランティア活動や家庭教育の推進である。これらを通して子育て支援活動と会員相互の親睦が図れるよう支援を行っている。

栃木県教育委員会や各種団体の主催による研修会へのサポート活動では、毎年1～2名の地域人材を発掘し、家庭教育支援に関する各種研修への参加をサポートしている。受講生は研修において、家庭教育の重要性への理解を深めたり、本県独自の参加型学習プログラム「親学習プログラム」のファシリテーションスキルを高めたりしている。そして修了後は、本町の家庭教育オピニオンリーダーズ・アイに登録し、ボランティアとして各種家庭教育支援活動に関わり、町内の各種事業での育児ボランティアとして活動したり、町の生涯学習に関する様々な事業の運営に関わったりしている。

また、自主的な講座を随時行い、親子のふれあいなどを気軽に感じてもらえる楽しい実践を行っている。



オピニオンリーダー研修



自主講座

2 事業の趣旨、目的

近年、特に家庭や少年を巻き込んだ痛ましい事件が多発しており、また社会を取り巻く環境が大きく変化し、地域の教育力の低下など多くの面で課題があり、これらは家庭の教育力の低下が一因と指摘されている。そのような中で、地域における子育てや家庭教育支援について、多くの人々が連携協力することは、よりよいまちづくりを進めていく上で大変有意義なことである。

本町では、栃木県教育委員会が昭和62年に開催した「家庭教育オピニオンリーダー研修」をきっかけに本支援事業を開始した。その後、平成9年度に研修修了生で組織する「塩谷町家庭教育オピニオンリーダーズ・アイ」が組織され、子育てボランティア等の事業を積極的に展開してきた。同18年度からは栃木県教育委員会が進める本県独自の保護者の学びを支援するための「親学習プログラム」の研修会に会員を計画的に派遣し、そのプログラムの実施と親のあり方の普及啓発に努めている。これらの活動は、会員各人の自主的で地域に根ざした支援活動を活性化し、更には地域の教育力の向上につながるほか、保護者を中心としたすべての町民が家庭教育への重要性を認識することになると考えている。

また、平成20年度には、塩谷町の第二次生涯学習推進計画（生涯学習推進プランⅡ）が策定され、これを踏まえ、本町では学校、地域、家庭に加え、企業まで巻き込みながら全町的に家庭教育を推進していくこととなった。特に、保護者一人一人の学習ニーズに対応した学びの機会を提供し、ぬくもりのあるまちづくりに向けて事業展開していくこととなった。

3 事業の内容

（1）学習の内容

家庭教育オピニオンリーダー研修の内容

本町では、次のような県主催の研修や各種研修に受講生を計画的、継続的に派遣していくことで、研修修了生が家庭教育に関して自主的に学習や相談活動を行い、地域に根ざした支援・援助ができるようにしている。

①家庭教育オピニオンリーダー研修

栃木県教育委員会では、大学教授や総合教育センター指導主事等を講師に迎え、家庭教育の在り方や支援の現状や課題、カウンセリングの基本等をテーマに全8回の研修会を開催している。

本町からも、こうした有意義な研修会に関心、意欲のある方々を見出し、派遣していくことで主体的に活動できる家庭教育オピニオンリーダー組織の確立と拡充を図っている。



②親学習プログラム指導者研修

栃木県教育委員会では、親学習プログラムの実践とそのファシリテーションスキルの定着のため、プログラムの進め方の実技体験を中心とした全4回の研修会を開催している。

本年度からは、公募により開催しているため、多くの方々に広報したり、本町家庭教育オピニオンリーダーの会員の方々を計画的に派遣したりすることで、本町における家庭教育支援の充実を目指している。



(2) 学習成果を活用したボランティア活動等の内容及び推進の方法

①就学時健康診断での家庭教育学級

本町では10月から11月にかけて、町内の3小学校区で次年度就学予定児（約100名）を対象とした各種検診を実施している。この際に、保護者の方々は小学校という新たな発達段階を迎える子どもたちの課題等をテーマにした家庭教育学級（親学習プログラム）を受講している。

この家庭教育学級の開催時に、家庭教育オピニオンリーダーズ・アイの会員が各小学校に出向き、30分から1時間の親学習プログラムを展開している。

平成21年度は、家庭での読書活動『家読（うちどく）』の大切さを実感してもらうためのワークショップや、親子の言葉のやりとりを考えるためのワークショップを地域の特性等に応じながら実施し、親としてのあるべき姿について気づきを生み出す時間とすることができた。

いずれのワークショップの開催に当たっても、町教育委員会事務局は家庭教育オピニオンリーダーと連絡を密に取り合い、準備物、展開の仕方、掲示物の工夫などを事前に研修するなど、保護者にとってよりよい学びになるよう、また家庭教育オピニオンリーダー会員にとっても自身のスキルアップにつながるように支援している。



グループワークの話し合い



ファシリテーターとして

②幼保小連絡協議会研修会での家庭教育学級

本町の幼保小連絡協議会は、小学校1、2年担当教諭及び幼稚園、保育所の教諭、保育士が加盟しているおよそ40人の団体である。幼稚園及び保育所と小学校という過渡期の教育・保育に携わり、現在は家庭の多様化による家庭への支援や具体的なアドバイスを求められる



ワークで話し合い



アイスブレイク

る教職員に対して、家庭教育支援に関するスキルを高めるための研修会を実施している。

その研修会では、家庭教育オピニオンリーダーが親学習プログラムのファシリテーターとなり活躍し、参加者からは、保護者に対する支援法の一つとして非常に効果的であるとの感想が寄せられた。


研修会の開催に向けては、町教育委員会事務局が協議会と家庭教育オピニオンリーダーの橋渡しをしながら、展開の仕方、掲示物の工夫などを事前に研修し合い、指導者としての資質を高め、保護者にとってのより良い学びになるよう、また家庭教育オピニオンリーダーの会員にとっても自身のスキルアップにつながるように支援してきた。

これ以外にも県主催のPTA指導者研修においても親学習プログラムの体験研修会を行い、ファシリテーターとして小中学校のPTA役員及び学校職員を対象に、不登校の子を持つ親の対応の仕方をワークショップとして展開した。

③子育て支援のためのイベント開催

塩谷町家庭教育オピニオンリーダーが主催者となって、毎年12月頃に保護者の子育て支援を主目的として、親子活動を企画、運営している。本年度は「親子で楽しいクリスマスのお菓子づくり

主催：子育て支援グループ 塩谷町オピニオンリーダーズ「アイ」




参加者募集

親子で楽しいクリスマスのお菓子づくり

日時：平成21年12月13日(日)9時30分～
 会場：船生公民館 調理室
 内容：クッキー、ケーキの飾り付け
 講師：地壇のお姉さん
 材料費：一人300円(材料込)
 定員：15組(先着順)
 対象：町内在住の親子

〇持ち物
エプロン、三角巾

～申込み方法～
 町会事務所の窓口にて、12月8日(土)までにご予約・申し込みをお申し込みください。
 15日～11:30、12日、13日、お電話での申し込みも可能です。



イベントのチラシ



活動の様子

り」として町内公民館の調理室を利用して、クッキーとケーキ作りを行った。およそ15組の親子が、3時間かけて家庭教育オピニオンリーダーの指導でお菓子作りにチャレンジした。参加者は親子で共に活動することで触れ合いの重要性を実感するきっかけとすることができたようである。

本町教育委員会としても、事前の企画の支援や、チラシづくり配布、申し込みの受付等の支援に当たり、スムーズな開催に向けての援助を行った。

（3）推進体制等の仕組み

塩谷町家庭教育オピニオンリーダーの組織は現在17名の会員を擁しているが、町職員との連絡を密にし、町職員自身も研修会に参加するなど、思いを共有しながら、お互いに話しやすい雰囲気の下、活動を進めている。また、栃木県教育委員会事務局塩谷教育事務所ふれあい学習課との連携を図り、家庭教育に関する有用な資料の情報提供や、スキルアップに係る研修情報の提供を積極的に行っている。

特に、学校、地域、子ども会等の子育てに関わる団体の各種イベントの中で本団体の取り組みを積極的にPRし、活動範囲を広げることに留意しているほか、本町の生涯学習成果の発表の場「生涯学習フェスティバル」の中での活動、PRの場を設け、本団体の素晴らしい取り組みを町民に広く周知している。

4 成果と今後の取組

本町では、家庭教育オピニオンリーダー支援事業は重要施策の一つととらえ、塩谷町家庭教育オピニオンリーダーズ・アイの活動は家庭教育及び子育て支援の充実に大いに寄与するものと期待している。

また、各家庭教育オピニオンリーダーは、ボランティア意識が高く、主体性、ファシリテーションスキルを持ちあわせている。さらに、会長と会員のネットワークがしっかりと構築され、教育委員会事務局とも自然体での連携・協力関係が成立している。

このようなことから、町民の子育て世代を中心とした多くの方々に家庭のあり方を学ぶ機会を提供することができ、保護者、地域住民からは好評を得てきたと評価している。

今後は、会員を増やしながら、活動範囲を更に広げるような仕組みづくりを構築していきたいと考えている。

【執筆者の職・氏名】 栃木県塩谷町教育委員会事務局生涯学習課 副主幹兼社会教育主事
八木澤 孝行